

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安居

## 目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 08 月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員の技術力の向上を目指していく	入居者の重度化による職員の介助時間の増加に伴い、サービスの低下にならないための職員一人ひとりの介護に対する取り組みを話し合いながら、入居者の重度化に向けた支援体制を強化していく。	職員の経験年数や、やる気を考慮して、交代で外部研修に参加してもらい、報告会で職員全員が理解を得て、共有できる体制と、職員間のチームワークを今以上に活かせる、職場環境につくり上げていく。	12ヶ月
2	3	地域密着型グループホームとしての在り方	認知症の高齢者が増え続ける中で、グループホームとして、今後、地域の高齢者等とどのように関わっていくかを検討していきたい。	認知症を理解し、経験豊富な職員を揃えているので、その知識をホームの中で活かすだけでなく、地域の方たちの相談を受け、アドバイスや関係機関と連携して、地域の中で安心して暮らし続ける支援体制を築いていく。	12ヶ月
3		定期的にご家族へのお便りを作成する	遠方のご家族やなかなか来られないご家族へ、安居での行事や生活状況を知っていただき安心していただく。	安居の中だけで写真を貼るのではなく、定期的にお便りを作成し、日々の生活状況など、担当からのコメントを添えて、行事や活動及び日々の生活状況を理解していただけるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。